

第44回「全日本中学生水の作文コンクール」熊本県審査結果

1 応募状況（熊本県内）

応募校数（校）	応募総数（編）	学年別応募数（編）		
		1年	2年	3年
14	1,133	336	467	330

2 熊本県審査結果

【水の作文大賞 5編】

※5編とも中央審査へ提出

題名	学校名	学年	氏名
救う水、奪う水	嘉島町立嘉島中学校	2	金子 夏歩
おいしい米を食べ続けるために	熊本県立玉名高等学校附属中学校	2	元田 真菜
表からは見れない裏側「節水」	真和中学校	1	宮本 朋弥
あの日誓った私の「役目」	氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校	3	本山 芽唯
大切な水を守るためには	熊本県立八代中学校	2	吉沢 ゆい

【熊本県賞 5編】

題名	学校名	学年	氏名
当たり前	熊本県立八代中学校	2	中村 心美
みずを知り、みずからを見つめて	阿蘇市立阿蘇中学校	3	甲斐 爽歌
失う前に気づいて	熊本市立出水中学校	3	甲斐田 知彩
果実による深刻な水不足	真和中学校	2	北井 乃暖
切っても切れない水と私たちの生活	氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校	1	小田 莉子

【入選 38編】

題名	学校名	学年	氏名
過去から学ぶ自然のサイクル	熊本県立八代中学校	2	湯野 心音
形を変える水	熊本県立玉名高等学校附属中学校	2	梅田 藍加
どの生物にとっても	熊本県立玉名高等学校附属中学校	2	宮尾 祥音
水問題の現状とこれからの課題	甲佐町立甲佐中学校	2	石原 葵
めぐる水	熊本県立玉名高等学校附属中学校	2	山本 釉華
水で笑顔に	熊本県立八代中学校	2	高岡 良成
水の体力	真和中学校	1	吉村 烈
どうすればいいの？	真和中学校	2	木村 友香
水を守り水で育てる	御船町立御船中学校	3	松下 佳蓮
水といつまでも	天草市立倉岳中学校	3	野首 羽海
水と私たちの生活	熊本県立玉名高等学校附属中学校	2	中川 理子
限りある資源、水の尊さ	甲佐町立甲佐中学校	2	田上 香菜
「命の水」	山鹿市立米野岳中学校	3	井出 海芯
水の大切さ	熊本県立玉名高等学校附属中学校	2	川端 心花
水の大切さ	熊本県立玉名高等学校附属中学校	2	本田 百奈
水の大切さ	真和中学校	1	荒瀬 響介
水がくれた世界への目	真和中学校	1	松村 恭佳

【入選 38編】

おいしい水にありがとう	熊本県立八代中学校	2	上村 悠介
水の存在価値とは	真和中学校	2	織方 麻優子
つなぐ水	真和中学校	2	杉本 周優
水の二面性	熊本県立玉名高等学校附属中学校	2	古賀 陽菜乃
水不足がなくなる世界へ	嘉島町立嘉島中学校	3	本多 紗弥香
水を大切に	御船町立御船中学校	1	小沢 綾菜
「あたり前ではないきれいな水」	天草市立新和中学校	2	原田 彩乃
将来の世界の為に今できること	氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校	2	源 歩弥
当たり前の存在であった水を失って初めてわかったこと	阿蘇市立阿蘇中学校	3	小笠原 志華
水と共に生きる私たち	阿蘇市立阿蘇中学校	3	永田 心望
ふるさとの海のために	天草市立新和中学校	3	中村 杏
世界と身の回りの水問題	氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校	1	森崎 千陽
温水洗浄便座とSDGs	玉名市立玉陵中学校	3	宮本 玖未
節水はなぜしないといけないの？	天草市立倉岳中学校	2	原田 笑心
世界と水の関係	嘉島町立嘉島中学校	3	前田 遥香
水の力	御船町立御船中学校	1	荒木 佳怜
水はただの水かもしれないけれど…？	熊本県立玉名高等学校附属中学校	2	徳永 桃子
そのコップ一杯で救える命	嘉島町立嘉島中学校	2	松本 康佑
たくさんの水のありがたさ	山都町立蘇陽中学校	3	廣瀬 未紘
変わってほしい	甲佐町立甲佐中学校	2	吉田 与絆
水不足の解消に向けて	天草市立倉岳中学校	2	山並 希

※旧字体は新字体で表記しています。

【学校賞 3校】

天草市立倉岳中学校	嘉島町立嘉島中学校	御船町立御船中学校

【学校奨励賞 3校】

学校法人鎮西学園真和中学校	天草市立新和中学校	氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校

(参考)

3 審査 ※コロナウイルス感染防止対策のため書面審査を実施

(1) 書面審査期間 令和4年(2022年) 5月24日(火)～5月26日(木)

(2) 審査員

職 名	
熊本日日新聞社編集局 読者・新聞学習センター NIE担当部長 くまTOMO編集長	伴 哲司
くまもと川の女性フォーラム 実行委員長	川野 由紀子
熊本市中学校国語教育研究会会長 熊本市立出水南中学校長	城音寺 明生
熊本県知事公室 広報グループ課長	櫛本 麻理
熊本県教育庁市町村教育局義務教育課 指導主事	橋本 昌尚
熊本県環境生活部環境局 環境立県推進課長	吉澤 和宏